

# 2018 年度事業報告

(自 2018 年 4 月 1 日～至 2019 年 3 月 31 日)

公益財団法人大学セミナーハウス

2018 年度事業報告  
(自 2018 年 4 月 1 日 至 2019 年 3 月 31 日)

## I 法人の状況

### 1. 設立年月日等

- 1962 年 3 月 31 日 財団法人 大学セミナーハウス設立  
 2011 年 4 月 1 日 公益財団法人に移行 (公益認定行政庁：東京都)  
 2019 年 4 月 19 日 事業活動の地域を東京都から全国に変更するに伴い、公益認定行政庁を東京都から内閣府に移行 (2019 年 3 月 26 日付認定、2019 年 4 月 19 日付評議員会決議)

### 2. 定款に定める目的

当法人は、高等教育機関における学生の研学及び修練の諸活動への協力並びに高等教育機関相互の交流に努めるとともに、教育研究成果の一般への普及を図り、もってわが国の高等教育機関並びに知識基盤社会の向上発展に寄与することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- (1) 学生のための研修会及び講演会の開催
- (2) 大学共同のセミナーなど大学相互の理解を深める諸活動
- (3) 高等教育・研究の成果の社会への普及に関する諸活動
- (4) セミナーハウスの設置及び維持運営
- (5) 留学生宿舍の設置及び維持運営並びに留学生教育の支援
- (6) その他この法人の目的達成するために必要な事業
- (7) (1)～(6)の事業は、東京都(2019年4月19日付で「全国」に変更)において行う

### 4. 監督機関に関する事項

「認定法」第 27 条第 1 項及び第 59 条第 2 項の規定に基づく立入検査が東京都によって 2016 年 12 月 19 日に実施され、指摘事項については改善された。

### 5. 会員の状況 (詳細は附属明細書 1 参照)

2019 年 3 月 31 日現在

区 分		当 期 末	前 期 末	増 減
協力会員	国 立	9	9	0
	公 立	2	2	0
	私 立	24	24	0
	大 学 校	0	0	0
	計	35	35	0
準協力会員	国 立	1	1	0
	公 立	0	0	0
	私 立	1	1	0
	計	2	2	0
賛助会員	法 人 団 体	9	10	△1
合 計		46	47	△1

## 6. 主たる事務所

主たる事務所の所在地 : 東京都八王子市下柚木1987番1

## 7. 役員に関する事項

### (1) 理事11人及び監事2人

2019年3月31日現在

役職	氏名	常勤・非常勤別	勤務先等職務
理事長	荻上 紘一	非常勤	元大妻女子大学学長
館長	鈴木 康司	非常勤	元中央大学学長
専務理事	外村 幸雄	常勤	元中央大学広報室長
常務理事	白井 克彦	非常勤	元早稲田大学総長
理事	佐藤 東洋士	非常勤	桜美林学園理事長・学園長
理事	室伏 きみ子	非常勤	お茶の水女子大学学長
理事	大場 昌子	非常勤	日本女子大学学長
理事	三木 義一	非常勤	青山学院大学学長
理事	小川 哲生	非常勤	明星学苑副理事長
理事	上野 淳	非常勤	首都大学東京学長
理事	増田 正人	非常勤	法政大学副学長・常務理事
監事	沖永 佳史	非常勤	帝京大学理事長・学長
監事	光田 明正	非常勤	桜美林大学孔子学院名誉学院長

### (2) 評議員16人

2019年3月31日現在

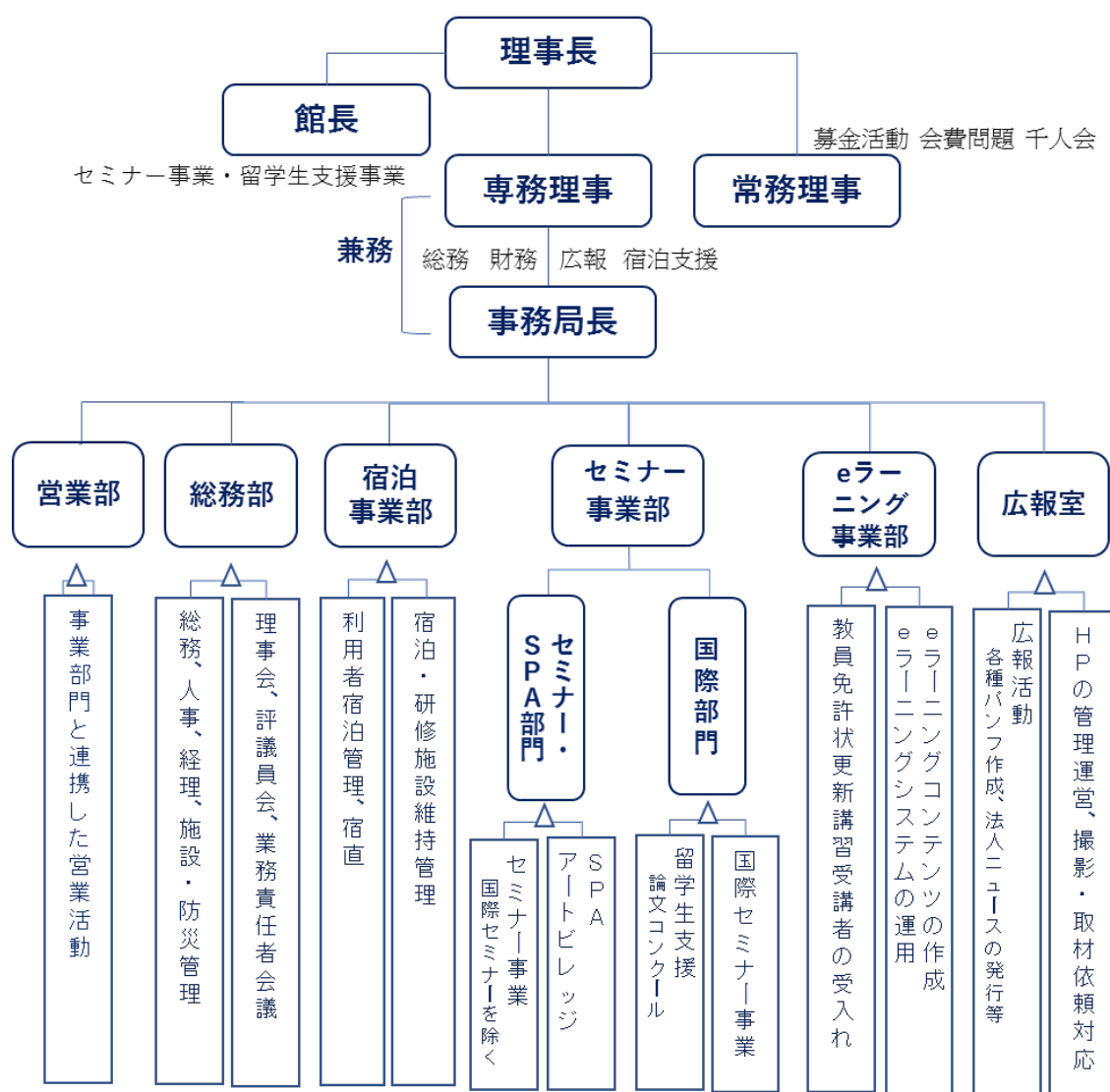
役職	氏名	常勤・非常勤別	勤務先等職務
評議員会議長	鷲山 恭彦	非常勤	東京学芸大学名誉教授
評議員	篠田 節子	非常勤	作家
評議員	八木 敏郎	非常勤	多摩信用金庫理事長
評議員	村田 雄二郎	非常勤	同志社大学大学院教授
評議員	小畑 秀文	非常勤	国立高等専門学校機構前理事長
評議員	山本 眞一	非常勤	桜美林大学教授
評議員	大井 孝	非常勤	一般社団法人日米協会理事
評議員	蓼沼 宏一	非常勤	一橋大学長
評議員	石森 孝志	非常勤	八王子市長
評議員	高祖 敏明	非常勤	上智学院前理事長
評議員	清家 篤	非常勤	前慶應義塾長
評議員	馬場 善久	非常勤	創価大学学長
評議員	日比谷 潤子	非常勤	国際基督教大学学長
評議員	ピーター マッキヤグ	非常勤	国際教養大学理事兼副学長
評議員	吉岡 知哉	非常勤	立教大学前総長
評議員	渡邊 啓貴	非常勤	東京外国語大学大学院教授

## 8. 職員に関する事項

2019年3月31日現在

職員数			前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数	
職員	男	1名	0	64歳	3.7年	
	女	—	—	—	—	
嘱託	常勤	男	3名	1	6.2歳	5.3年
		女	8名	0	5.4歳	7年
	非常勤	男	4名	0	6.9歳	8年
		女	3名	1	5.2歳	6年
非常勤職員		男	3名	1	5.9歳	3年
		女	2名	1	4.6歳	1年
派遣職員		男	1名	△1	7.4歳	3年
		女	1名	1	5.0歳	1.5年
合計又は平均		2.6名	0	5.8歳	6.1年	

<参考> 事務局組織 2019/04/01現在



## 9. 許認可に関する事項

文部科学省への教員免許状更新講習実施法人としての指定を申請し、教員免許状更新講習実施規則第1条第4号に規定する要件を満たした法人として、2018年12月26日付で指定期間2019年4月1日から2024年3月31日までの5年間について文部科学大臣の指定をうけた。

## II 事業の状況

### 1. 2018年度概況

2018年度については、2017年12月開催の理事会で承認された事業計画の基本方針を踏まえつつ、高等教育の新局面、利用者のニーズなどセミナーハウスを取り巻く環境の変化への対応を反映させた事業計画に沿って、その実現に向けて鋭意取り組んできた。

会員数の減少傾向、宿泊利用者数の伸び悩み、施設老朽化による修繕費の増加などにより経営状況はマイナスのスパイラルに陥ろうとしており、財政基盤の強化が最重要課題である。

開館から50年以上を経て、施設の老朽化への対応、新たな宿泊利用者の獲得、セミナー事業の見直しなどが求められ、固定客依存型の宿泊研修支援事業、会費依存型の経営からの脱却が喫緊かつ最大の課題である。この課題の解決が、当法人の収益構造を健全化し、財政基盤の強化を実現することになるものと考えている。

財政基盤の基礎となる会費基準の改正を2016年度から、宿泊・研修室料金及び視聴覚機器等の料金の改定を2018年度から実施するとともに、既存の経費について厳しく検証することで、財政立て直しのための環境整備を図ってきた。

しかし、会費収入の減少は抑えられたものの、宿泊事業収入が伸び悩む中、ここ数年の各種大規模修繕や新食堂棟などの固定資産取得に予定を大幅に上回る資金支出を余儀なくされ、非常に厳しい状況となっている。2018年度は、eラーニングによる教員免許状更新講習による収入は大幅に伸びたものの、収益構造を長期的に安定させるだけの事業とはなっていないと考えている。

当公益財団法人としては、定款に定める目的を全うし、その社会的役割をより一層果たすために、2018年度においては、既存の主催セミナーの充実に加えて新たな主催セミナーの企画、グローバルアカデミーセミナーの新たな展開及びeラーニングによる教員免許状更新講習等に力を注いだ。

2018年度の事業計画で掲げたビジョンと重点項目は以下の通りである。

#### 【セミナーハウスビジョン2015】

VISION 1 理念の実現

VISION 2 伝統の継承

VISION 3 新たな展開 一個性豊かな宿泊研修の整備

#### 【重点6項目】

- ①宿泊利用者拡大施策の展開
- ②セミナー事業の充実
- ③留学生支援事業の継続・充実
- ④広報活動の強化と連携・協力体制の構築
- ⑤財政の基盤強化
- ⑥法人としての基盤整備

### 2. 各重点項目の取り組みについて

#### 【重点項目1】宿泊利用者拡大施策の展開

宿泊事業では、目標の年間宿泊者数（予算）32,000人に対し、31,903人であった。2018年度の実績については、「3. 事業の実施状況・（1）宿泊事業」で詳述するが、宿泊利用者数の増加は一般校と社会人（賛助会員を含む）が増加したことによる。特に、ここ数年の賛助会員（企業、その他の団体）の新規開拓の成果が賛助会員の利用者数増加に寄与している。

宿泊利用者拡大施策としては、以下の取り組みを行った。

○各種宿泊企画（宿泊プラン）の提供により利用者拡大と認知度の向上を図った。

- ◆留学生短期滞在応援プラン（割引）
- ◆学生向け遠征宿泊プラン（キャンセル優遇規定の適用）
- ◆協力会員大学附属・系列校限定・合宿研修割引料金プラン
- ◆期間限定・直前予約割引プラン
- ◆期間限定・測量実習プラン（割引）
- ◆期間限定・音楽関係ご利用プラン（割引）

○大学セミナーハウスの建造物としての価値を利用した見学ツアー企画の推進を行った。

※DOCOMOMO Japan 1999年に日本の代表的近代建築20選に選定

※国立西洋美術館（2016年世界遺産登録）の設計者ル・コルビュジエの弟子である吉阪隆正氏の設計

※東京都歴史的建造物に選定（本館が2017年3月23日に選定）

## 【重点項目2】セミナー事業の充実

詳細は、3. 事業の実施状況（2）セミナー事業を参照していただきたいが、セミナー事業の概要は以下の通りである。

（1）新規主催セミナー事業の展開

○国際セミナーの新たな展開

2018年度から既存の「EUセミナー」に加えて新たに国際的なテーマのセミナー「現代中国理解セミナー」を実施し、「グローバルアカデミーセミナー」として展開

○古代史セミナーの復活

2004年から2014年まで開催した「古代史セミナー」を「古田武彦記念古代史セミナー」として2018年度再開した。

（2）既存セミナーの継続実施計画

- ① 新任教員研修セミナー（1泊2日）
- ② 大学職員セミナー（日帰りおよび宿泊セミナー、年2回実施）
- ③ EUセミナー（2泊3日）
- ④ 憲法セミナー「憲法を学問する」（1泊2日）

（3）eラーニングを活用したプログラムの実施

- ① 教員免許状更新講習（eラーニングでの実施は2016年1月より）
- ② 講習コンテンツ及びシステムの地方大学（関西国際大学・活水女子大学）利用促進
- ③ 期中にPC・スマートフォンによる受験を可能とする顔認証システムの実装により劇的に受講者数が増加した。

2018年度 目標受講者数：延1,200人、実績：延4,971人

（内訳：大学セミナーハウス4,223名、関西国際大学599名、活水女子大学149名）

（4）SPAプログラム

教育団体、会員については割引料金にし、2018年度では、新たな宿泊利用者獲得を目指して、積極的な利用促進活動（営業活動）を展開し、宿泊利用者増に繋げた。特に企業研修の利用者数が大幅に増加した。

### 【重点項目3】留学生支援事業の継続・充実

#### (1) 留学生会館の施設概要と入居状況

部屋数 25 室 部屋代 45,000 円/月 (光熱水料・共益費込)

入居率 2016 年度 95% 2017 年度 69% 2018 年度 67% (留学生支援事業収益により算出)

\*入居状況については「附属明細書3 留学生会館入居状況」で詳述する。

#### (2) 留学生論文表彰事業 (論文コンクール)

全国 25 大学の留学生 (出身国は 6 カ国 1 地域) から 30 作品の応募があり、5 作品が入賞

応募者所属大学数、国籍、入賞作品一覧等については「附属明細書4 留学生論文の表彰に関する事項」で詳述する。

### 【重点項目4】広報活動の強化と連携・協力体制の構築

#### (1) 広報活動の強化

1. ホームページの更なる充実 (随時修正・改善)
2. ステークホルダー対象の利用促進パンフレット「FANBOOK」の改訂版作成 (多様かつ満足度の高い利用者を中心に表現したビジュアルコンテンツ)
3. 「セミナーハウスニュース」の年2回編集発行
4. 会員の新規開拓広報活動の積極展開
5. インスタグラムに加えて、ツイッター、フェイスブックなど SNS での情報発信

#### (2) 各種支援組織との連携の強化

1. アートビレッジの利用者 (アーティスト) との交流と連携
2. 新食堂棟委託業者との連携による宿泊者・外来者等利用者へのサービスの向上
3. 賛助会員企業 (多摩信用金庫) のイベント部門との連携

### 【重点項目5】財政の基盤強化

詳細については「第2号議案 2018 年度決算書 (案) について」で説明する通りだが、前年度と比較して改善されている。その主な要因は、以下の通りである。

#### (1) 経常比率の改善

財務の安定性を判断する経常比率 (経常収益/経常費用) は 92.5% となり、前年度の 82.0% から大きく改善したものの、目標の 100% 以上を果たすことができなかった。

#### (2) 事業活動収支差額の大幅増大

経常費では (1) の通り費用が収益を上回っているものの、資金収支上の収支を見る事業活動収支差額 (事業活動収入 - 事業活動支出) では、前年度  $\Delta 4,231,172$  と赤字であったが、2018 年度は大きく黒字に転じて  $19,755,901$  円となった。

#### (3) 宿泊事業収益の増加

学生宿泊事業収益と社会人宿泊事業収益を合わせた宿泊事業収益は前年度 151,986 千円であったが、2018 年度では賛助会員を含めた社会人の利用者数の大幅増大などにより 164,537 千円となり、12,551 千円増加した。

#### (4) セミナー事業収益の増加

セミナー事業収益は前年度 5,634,420 円であったが、2018 年度は 36,606,656 円となり、大幅に増加した。収益のうち e ラーニングによる教員免許状更新講習の受講料収入が 34,374,924 円と 94% を占めている。これは 2018 年度の期中に自宅受験を可能とするシステムに改善したことにより受講者数が劇的に増加したためである。

### 【重点項目6】法人としての基盤整備

#### (1) 各就業規則と関連規定の整備

既に規程制定あるいは整備した以下の規定等の周知と円滑な運用を図った。

「公益財団法人大学セミナーハウス就業規則」

「公益財団法人大学セミナーハウス賃金規程」

「公益財団法人大学セミナーハウス退職金規程」

「公益財団法人大学セミナーハウス非常勤職員就業規則」

## (2) スタッフの長期的な視点での強化・育成

### 1. 積極的な利用促進活動の推進

「全員が営業マン」の姿勢で積極的に利用促進活動に臨む方針を打ち出した。

### 2. サービスレベルの明確化と向上

「利用者ファースト」マインドの醸成に努め、利用者との接点改善とサービスレベルの向上に取り組んだ。

### 3. 事務組織の再編

事務組織内での危機感共有と積極的な収益増加策の実施による収支の改善を図るべく、事務組織の再編を行った。さらに 2019 年度に向けて、業務単位を超えて流動的に協働することを目的として業務単位横断的な個別業務辞令を交付することとした。

## 3. 事業の実施状況

### (1) 宿泊事業

#### ◆年間の宿泊利用者数 31,903人

2018年度の宿泊利用者数は31,903人で、前年度が29,753人でしたので、前年度と比較して2,150人増加した。

2019年度は「利用者ファースト」を念頭にお客様満足度を高める施策を行い、集客数の増加を図りたい。

#### 宿泊施設の利用状況

年度	2018年度		2017年度		2016年度	
	宿泊延人数	構成比	宿泊延人数	構成比	宿泊延人数	構成比
会員校	12,569	39.4%	12,886	43.3%	15,044	47.3%
主催セミナー	432	1.4%	290	1.0%	341	1.1%
会員校・主催セミナー計	13,001	40.8%	13,176	44.3%	15,385	48.4%
一般校	12,473	39.1%	11,434	38.4%	11,067	34.9%
社会人	4,306	13.5%	4,304	14.5%	5,258	16.6%
賛助会員	2,123	6.6%	839	2.8%	49	0.2%
社会人・賛助会員計	6,429	20.1%	5,143	17.3%	5,307	16.7%
合計	31,903	100.0%	29,753	100.0%	31,759	100.0%
*収容定員	273人		279人		279人	
年間稼働日数	360日		360日		360日	
年間収容定員	98,280人		100,440人		100,440人	
年間稼働率	32.5%		29.6%		31.6%	
*宿泊事業収益	164,536,995円		151,986,211円		158,574,507円	

\* 収容定員：2018年度収容定員の減少は、記念館6人分の客室を売り止めにしたためである

\* 宿泊事業収益＝学生宿泊事業収益＋社会人宿泊事業収益



(2) セミナー事業

① 主催セミナー

主催セミナー全体の参加者は 5,366 名（昨年度は 798 名）であった。

対象	セミナーの名称	開催日	主題	参加者 (定員)
学生・ 社会人	憲法を学問するⅢ	10月6日～ 10月7日		38名 (60名)
	EUセミナー	9月28日～ 9月30日	分裂に立ち向かう EU	80名 (70名)
	現代中国理解セミナー	12月1日～ 12月2日	世界の中の中国と日本 －現代中国理解－	47名 (40名)
教職員	第8回新任教員研修セミナー	9月3日～ 9月5日		27名 (40名)
	第37回大学職員セミナー	7月6日	大学職員の役割をあらためて考 えてみよう(第1回)	91名 (100名)
	第38回大学職員セミナー	10月18日～ 10月19日	大学職員の役割をあらためて考 えてみよう(第2回)	27名 (40名)
社会人	古田武彦記念 古代史セミナー2018	11月10日～ 11月11日		85名 (60名)
その他	【eラーニング】 教員免許状更新講習	通年		4,971名

eラーニング内訳：大学セミナーハウス 4,223名、関西国際大学 599名、活水女子大学 149名

② SPA活動

SPA コースの年間利用者数は 821 人（33 団体）で、そのうち日帰り利用者数が 281 人、宿泊が 540 人であった。前年度の年間利用者数 730 人と比較して約 12%の微増であったが、企業研修の利用者数が 469 人と昨年度の 68 人と比較して大幅増となった。

(3) 留学生支援事業

① 留学生会館事業（詳細は附属明細書 3 参照）

留学生に充実した留学生生活を過ごしてもらえるよう、勉学や生活上のサポートをしながら、快適で良質な宿舎を提供した。

2019年3月31日現在の入居者数は、20名（昨年度は13名）。

② 留学生論文コンクールの表彰に関する事業（詳細は附属明細書 4 参照）

(4) 土地貸与事業

① 土地及び建物等の貸与に関する事業

当法人の敷地及び建物の一部（交友館煙突及びさくら館屋上）を一般企業に貸与している。一般企業はこの土地を資材置場等に、また、煙突は携帯電話の無線中継基地として利用している。

区 分	利 用 者	利用面積 等	利 用 目 的
土 地	宮川石材(株)	675 m <sup>2</sup>	資材置き場
土 地	豊 岡 誠	12 m <sup>2</sup>	駐車場

土地	(福法) ゆずの木	0.5 m <sup>2</sup>	看板の設置
建物	ソフトバンク モバイル (株)	煙突	携帯電話の無線中継基地
建物	KDDI (株)	屋上	携帯電話の無線中継基地
自販機等	コカコーラ他	自販機	宿泊利用者等への提供
売店	有限会社杉山商店	フロント	宿泊利用者等への提供
食堂	東京ケータリング株式会社	572 m <sup>2</sup>	宿泊利用者等への提供

② 施設利用者の利便に関する事業

当施設をご利用いただく方々のために、アイスクリーム、絵葉書、ひげそり、歯ブラシ等の物品の販売、飲料や軽食の提供に伴い自動販売機設置手数料を得ている。

### Ⅲ. 重要な契約に関する事項

資産の取得

単位：円

科 目	取得した資産の明細	取得年月	金 額
建物附属設備	松下館自動火災報知機設置工事	2018年6月29日	1,075,982
	図書館地階ガス給湯器設置	2018年11月30日	385,000
	やまゆり(食堂)フライヤー増設	2018年11月30日	367,200
	留学生会館給湯器(2台)	2018年11月30日	700,000
	本館非常用電源工事	2018年12月28日	388,800
	本館空調設備修繕	2018年12月28日	1,179,360
構築物	中山ピークゴルフ災害土留工事	2018年7月31日	642,384
	バスケットゴール設置	2018年9月20日	367,200
什器備品	講堂ワイヤレスチューナー交換	2018年6月29日	378,000
	大学院セミナー室カーテン	2018年7月25日	1,963,440
	ハイビジョンプロジェクター及びスクリーン	2018年7月31日	1,270,080
	記念館シャワー栓交換	2018年9月27日	430,000
著作権譲渡料	加藤彰彦(子供の貧困問題学校教育)	2018年6月7日	233,874

	宮内康乃(耳をひらく 心をひらく —音から育む人間の豊かな感性、 創造性—)	2018年6月7日	233,874
合計			9,615,194

#### IV. 役員会等に関する事項

##### 1. 評議員会

評議員会の区分等	開催月日	審議事項
第11回評議員会	2018年6月25日	1 2017年度事業報告(案) 2 2017年度決算書(案)について 3 評議員の退任および補充選任について 4 所管行政庁の変更認定申請と定款の変更について

##### 2. 理事会

理事会の区分等	開催年月日	審議事項
第27回理事会	2018年6月1日	1 2017年度事業報告(案)について 2 2017年度決算(案)について 3 2018年度第1回評議員会の日程について 4 八王子市との土地交換契約の締結について 5 2018年度会費の減額申請について 6 公益財団法人大学セミナーハウス事務組織規定の改正について 7 公益財団法人大学セミナーハウス職員賃金規定の改正について 8 公益財団法人大学セミナーハウス非常勤職員就業規則の改正について
第28回理事会	2018年11月30日	1 2019年度事業計画(案)について 2 公益財団法人大学セミナーハウス留学生会館運営規定改正について
第29回理事会	2019年3月4日	1 2018年度における資金計画(借入)について 2 2019年度収支予算(案)について

#### V. 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位：円)

区分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
経常収益合計	232,582,167	234,211,420	210,577,884	252,037,452
経常費用合計	244,330,121	250,853,416	256,686,263	272,617,305
当期正味財産増減額	△11,747,954	△16,641,996	△46,108,379	△20,579,853
資産合計	1,140,647,380	1,326,711,270	1,289,167,531	1,258,708,537
負債合計	232,294,657	438,142,166	446,706,806	436,827,665
正味資産	908,352,723	888,569,104	842,460,725	821,880,872

## VI. 無償の役務の提供状況

1. 環境ボランティア  
環境ボランティアは、2018年度から行っていない。

## VII. 法人の課題

1. 財政基盤の強化  
「Ⅱ事業の状況」「2018年度概況」で述べた通り、固定客依存型の宿泊事業、会費依存型の経営からの脱却による財政基盤の強化が最重要課題である。
2. 主催セミナーの充実  
当公益財団法人の定款に定める目的「わが国の高等教育機関並びに知識基盤社会の向上発展に寄与する」を全うするために主催セミナーをさらに充実させ、大学セミナーハウスのブランド価値を高める。
3. 会員の獲得  
協力会員は減少傾向にあり利用者も減少しているが会員以外の利用者は増加している。今後の課題は会員大学を含めて広く法人の状況・事業内容等の情報を積極的に発信し、新たな会員の獲得とともに会員数の維持に努めることである。
4. 組織内コミュニケーション円滑化とスタッフの育成と適正配置  
上記1～3を達成するため、役員・職員全員が、事業計画を理解し、コミュニケーションの円滑化を図りながら業務を遂行するとともに、スタッフの育成と適正配置を踏まえた人事計画にも注力することが求められる。

## VIII. 理事の職務遂行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

1. 2013年11月の理事会において、評議員会運営規程及び理事会運営規程を定め、評議員会及び理事会の運営を遅滞なく開催するようにした。
2. 理事会において代表理事及び代表理事以外の業務執行理事の職務執行状況に関する報告を年2回（上期・下期）行なっている。
3. 理事会・評議員会の開催運営に関する行政庁からの指摘事項について改善に努めている。

## IX. 株式保有している場合の概要

該当なし。

## X. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

特になし。

以上